

徳川家康公年譜

- 天文十一 (一五四二) 十二月二十六日、三河国岡崎城主・松平広忠の嫡男として誕生。幼名竹千代。
- 十八 (一五四九) 8歳 駿府の今川義元の人質となる。
- 弘治元 (一五五五) 14歳 元服して松平次郎三郎元信と名乗る。
- 三 (一五五七) 16歳 築山殿と結婚。
- 永禄二 (一五五九) 18歳 長男・信康が誕生。名乗を元康に改める。
- 三 (一五六〇) 19歳 今川義元が桶狭間で戦死。岡崎城に入る。
- 四 (一五六一) 20歳 織田信長と和す。
- 六 (一五六三) 22歳 名乗を家康に改める。
- 九 (一五六六) 25歳 姓を徳川に改める。
- 元亀元 (一五七〇) 29歳 朝倉・浅井軍を姉川で破る。居城を浜松城に移す。
- 三 (一五七二) 31歳 武田信玄と三方ヶ原で戦い、大敗。
- 天正三 (一五七五) 34歳 長篠の合戦で、武田勝頼軍を破る。
- 七 (一五七九) 38歳 三男秀忠が誕生。築山殿を殺害。信康切腹。
- 十 (一五八二) 41歳 武田氏を滅ぼし、駿河国領主に。本能寺の変。
- 十二 (一五八四) 43歳 小牧・長久手の合戦で豊臣軍を破る。
- 十三 (一五八五) 44歳 秀吉の妹・旭姫と結婚。遠江・三河・駿河・甲斐・信濃の五カ国の領主。居城を駿府城に移す。
- 十八 (一五九〇) 49歳 居城を江戸城に移す。
- 慶長三 (一五九八) 57歳 豊臣秀吉が死去。

- 慶長五 (一六〇〇) 59歳 関ヶ原の合戦で大勝。
- 六 (一六〇一) 60歳 東海道の宿場を設置。
- 八 (一六〇三) 62歳 將軍宣下、江戸幕府開府。
- 九 (一六〇四) 63歳 糸割符制度を導入。
- 十 (一六〇五) 64歳 將軍を辞任し、大御所に。秀忠、將軍宣下。
- 十二 (一六〇七) 66歳 居城を駿府城に移す。朝鮮通信使を歓迎。
- 十三 (一六〇八) 67歳 角倉了以が富士川舟運路を開削。
- 十四 (一六〇九) 68歳 オランダ国王使節に駿府城で引見し通商を許可。
- 十五 (一六一〇) 69歳 遭難したドン・ロドリゴ総督らスペイン人を日本の帆船でメキシコに届ける。
- 十六 (一六一一) 70歳 スペイン国王使節に駿府城で引見。
- 十七 (一六一二) 71歳 キリスト教禁止令。
- 十八 (一六一三) 72歳 イギリス国王使節に駿府城で引見し通商を許可。
- 十九 (一六一四) 73歳 大坂冬の陣。
- 元和元 (一六一五) 74歳 大坂夏の陣。豊臣家を滅ぼす。武家諸法度、禁中並公家諸法度、諸宗本山諸法度を制定。
- 二 (一六一六) 75歳 四月十七日に没す。久能山に埋葬。
- 三 (一六一七) 東照大権現の神号宣下。日光に改葬。久能山東照社を造営。

はじめに



静岡商工会議所会頭
後藤 康雄

静岡清水両商工会議所は2010年4月1日に合併し、新しい静岡商工会議所として出発しました。

これに伴い、広報誌は「S-ing」という名称で、装いを新たに発行しており、2011年4月号から2012年3月号までは、久能山東照宮の国宝指定を記念して、徳川家康公の駿府大御所時代を中心に、その業績を広く再評価し、次世代に継承するための記事「徳川家康公と駿府」を連載しました。読者の皆様にアンケートで意見をおききしたところ、「良かった記事」として多くの皆様から好評価をいただきました。

そこで静岡商工会議所開所120年記念事業として、連載記事と、3月号に掲載した情報文化部特集「徳川家ゆかりの地をめぐる旅」に加えて、新たに徳川恒孝様に寄稿いただき、この冊子を作成しました。

私たち静岡商工会議所では、2015年の家康公四百年祭に向けて、様々な準備活動をしております。この冊子も、その一環として、静岡商工会議所の会員をはじめ、静岡市民や歴史教育関係の皆様には配布しますので、家康公ゆかりの地・静岡をめぐりながら、家康公が私たちに残してくれた大きな資産について、実感していただければ幸いです。

おわりに、本企画に賛同し、家康公の業績を、様々な視点から、わかりやすくご紹介いただいた執筆者の皆様には深く感謝申し上げます。

2012年11月27日

徳川家康公と駿府 目次

| | | |
|------------------------|-------|----|
| 家康公の「和」の心 | 徳川恒孝 | 2 |
| リーダーとしての徳川家康の魅力 | 小和田哲男 | 4 |
| 朝鮮王朝との国交を回復した家康 | 金 両基 | 6 |
| 東海道の宿場と交通を整備した家康 | 渡辺和敏 | 8 |
| 豊臣色の一掃にむけて策を謀った大御所家康 | 平井 聖 | 10 |
| 家康の情と非情の部下管理法 | 童門冬二 | 12 |
| 組織経営者として極めて優れていた家康 | 大前研一 | 14 |
| 家康がつくった先見性豊かな駿府城下町 | 織田元泰 | 16 |
| 駿府、清水湊、富士川を舟で結んだ家康 | 川崎文昭 | 18 |
| 新田開発や検地政策など農村を重視した家康 | 本多隆成 | 20 |
| 世界史上最初の軍縮革命を実現した徳川家康 | 川勝平太 | 22 |
| 庶民社会に溶け込んだ神としての家康 | 中村羊一郎 | 24 |
| 駿府城でヨーロッパ諸国との外交を展開した家康 | 黒澤 脩 | 26 |
| 徳川家ゆかりの地をめぐる旅 | 落合偉洲 | 28 |
| 国宝に指定された久能山東照宮 | | 33 |